

平成 13 年

家族と地域の支え合いに関する調査報告書

厚生労働省政策統括官付政策評価官室

調査の概要

1 調査の目的

今般、少子高齢化が進み、育児支援や高齢者介護の重要性が増す中で、社会保障制度の枠を越えた家族と地域の支え合いの必要性が今一度見直されてきている。この調査では、親と子の助け合いや地域における支え合いの状況等を調査して、その実態を把握した上で、社会保障制度の企画・立案に資することを目的とした。

2 調査の対象

平成13年国民生活基礎調査の準備調査により設定された単位区から無作為に抽出した360単位区内すべての世帯の20歳以上の最多所得者について行った。

3 調査の実施日

平成13年7月12日（木）

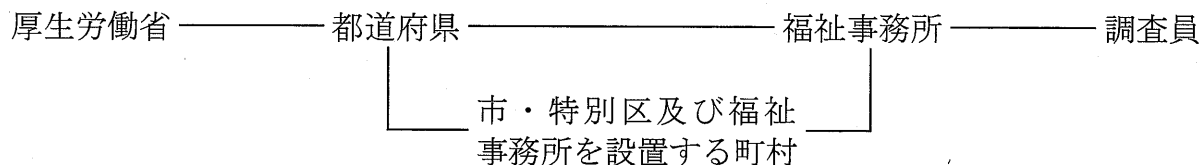
4 調査の事項

- (1) 属性（性・出生年月等）
- (2) 親・子など家族との同居関係や手助けの状況について
- (3) 地域での手助けの状況について

5 調査の方法

あらかじめ調査員が配布した調査票に、被調査者が自ら記入し、それを調査員が回収する留置自計方式により実施した。

6 調査の系統



7 回収率

対象客対数 (A)	有効客対数 (B)	有効回収率 (B/A)
7, 160世帯	6, 041世帯	84.4%

調 査 結 果 の 概 要

1 最多所得者の状況

(1) 性・年齢階級

この調査の集計対象となる最多所得者の状況をみると、男性 78.7%、女性 21.3%と男性が多くなっている。

年齢階級別にみると、「50～59歳」25.0%が最も多く、次いで「60～69歳」19.7%、「40～49歳」18.7%となっている。

平均年齢をみると、総数では 53.3 歳、男性では 52.4 歳、女性では 56.6 歳となっており、女性が最多所得者となっているのは、高齢単独世帯の場合が比較的多く含まれていることが考えられる。(表 1)

表 1 性・年齢階級別のみた最多所得者

(単位：%)

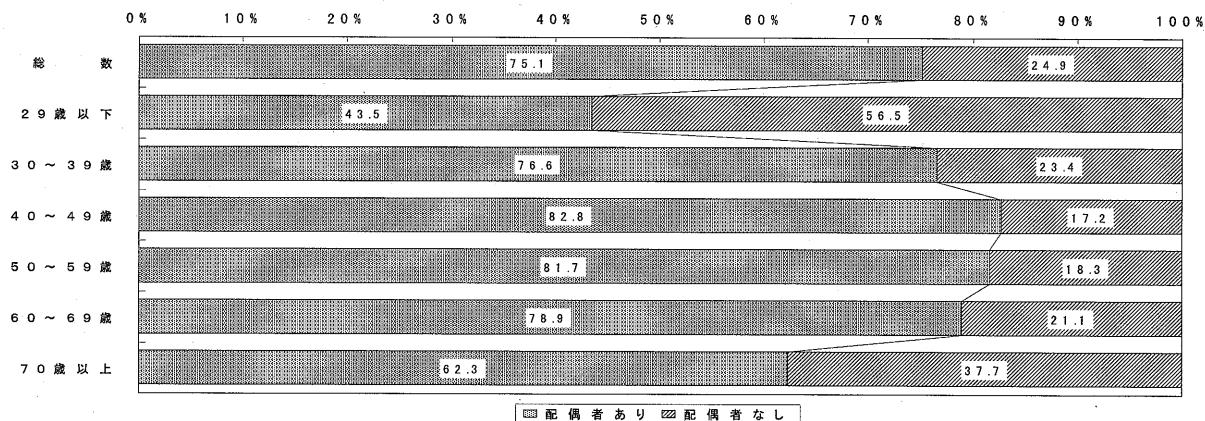
	世帯数	総数	男	女
総数	6,041	100.0	78.7	21.3
29歳以下	431	7.1	5.2	1.9
30～39歳	809	13.4	11.4	2.0
40～49歳	1,129	18.7	15.9	2.8
50～59歳	1,509	25.0	20.2	4.8
60～69歳	1,193	19.7	15.7	4.0
70歳以上	970	16.1	10.4	5.7
平均年齢		53.3歳	52.4歳	56.6歳

(2) 配偶者の有無

最多所得者の配偶者の有無をみると、「配偶者あり」75.1%、「配偶者なし」24.9%となっている。

年齢階級別にみると、「配偶者あり」は「40～49歳」82.8%が最も多くなっている。一方、「29歳以下」は43.5%と最も少なくなっている。(図 1)

図 1 配偶者の有無



※不詳を除く

(3) 親の状況

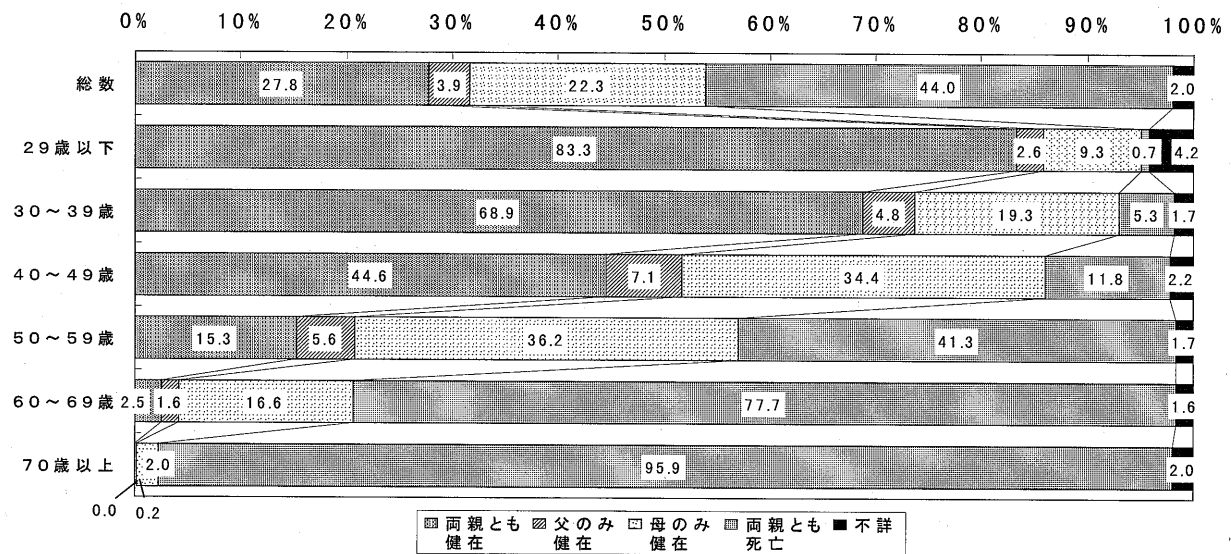
最多所得者の親の有無の状況をみると、「両親とも健在」27.8%、「父親のみ健在」3.9%、「母親のみ健在」22.3%、「両親とも死亡」44.0%となっている。

最多所得者の年齢階級別にみると、年齢が高くなるにつれて「両親とも健在」の割合が低くなり、「両親とも死亡」の割合が高くなっている。

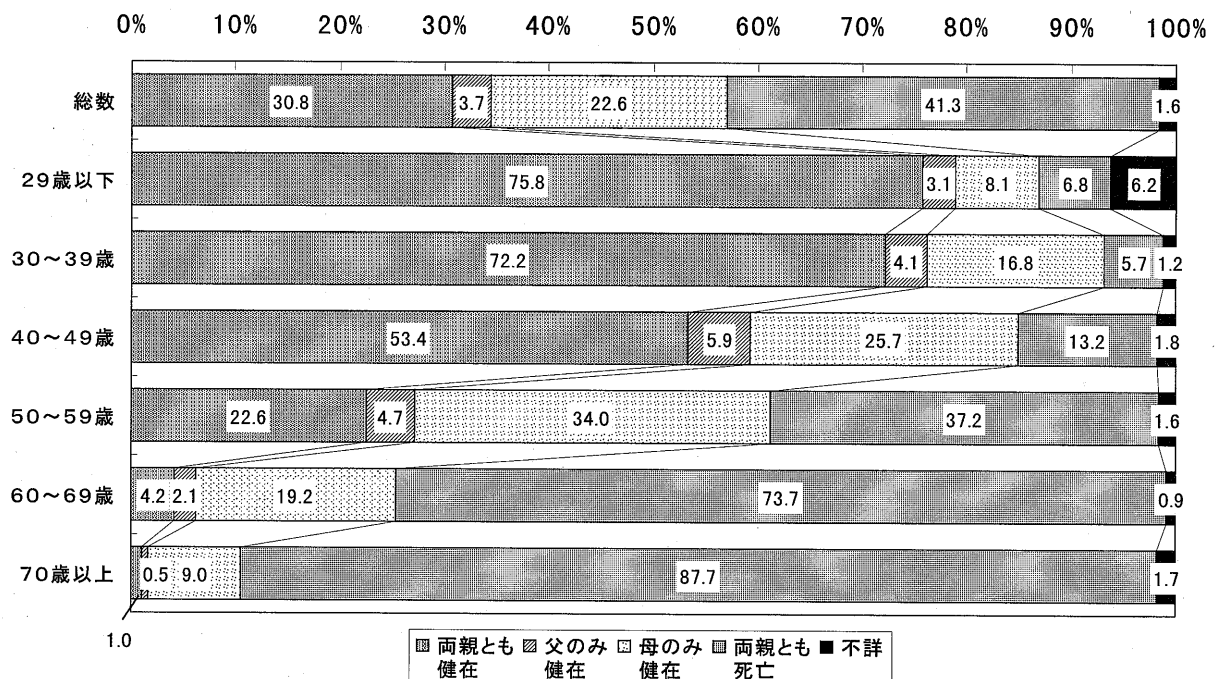
最多所得者の配偶者についても同じ傾向となっている。(図2)

図2 親の有無

(最多所得者)



(最多所得者の配偶者)

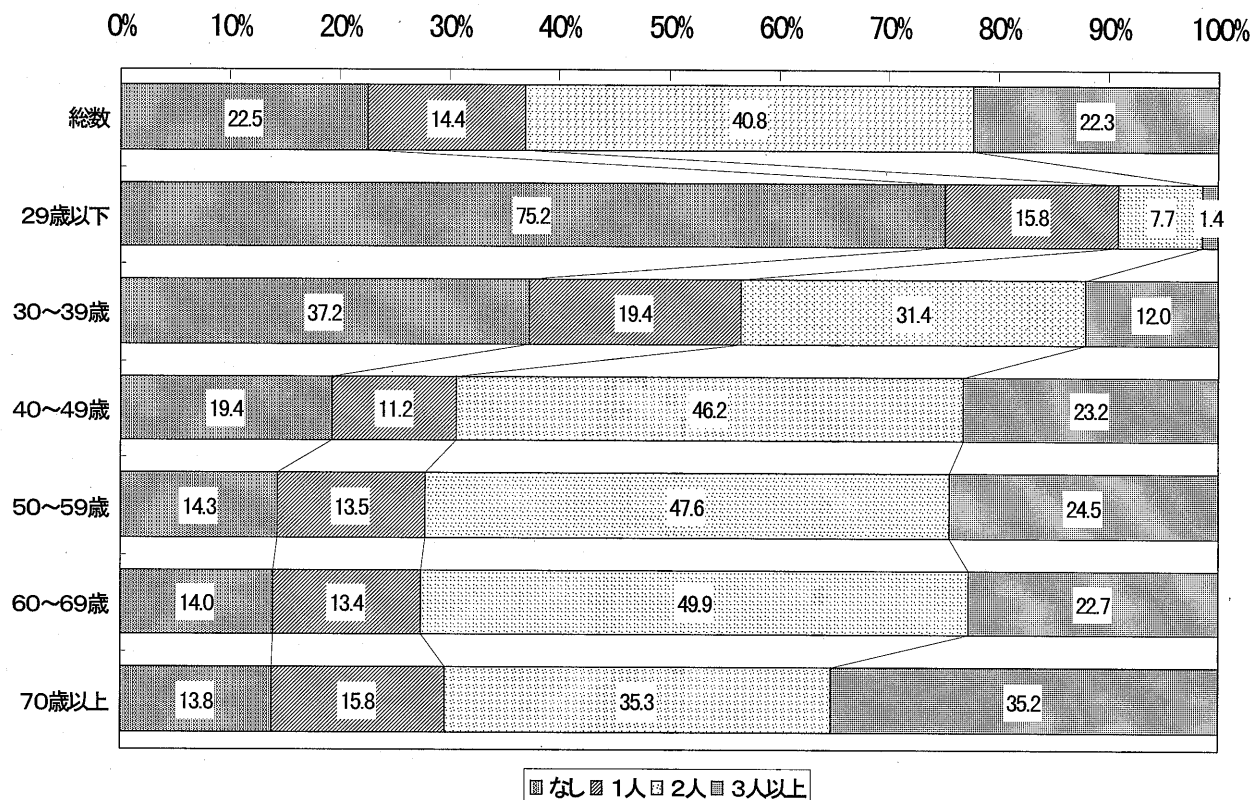


(4) 子供の状況

最多所得者の子供の数の状況をみると、「2人」が40.8%と最も多く、次いで「なし」が22.5%となっている。

最多所得者の年齢階級別にみると、29歳以下では「なし」が4分の3を占めており、40歳以上では、「2人」が最も多くなっている。(図3)

図3 子供の有無



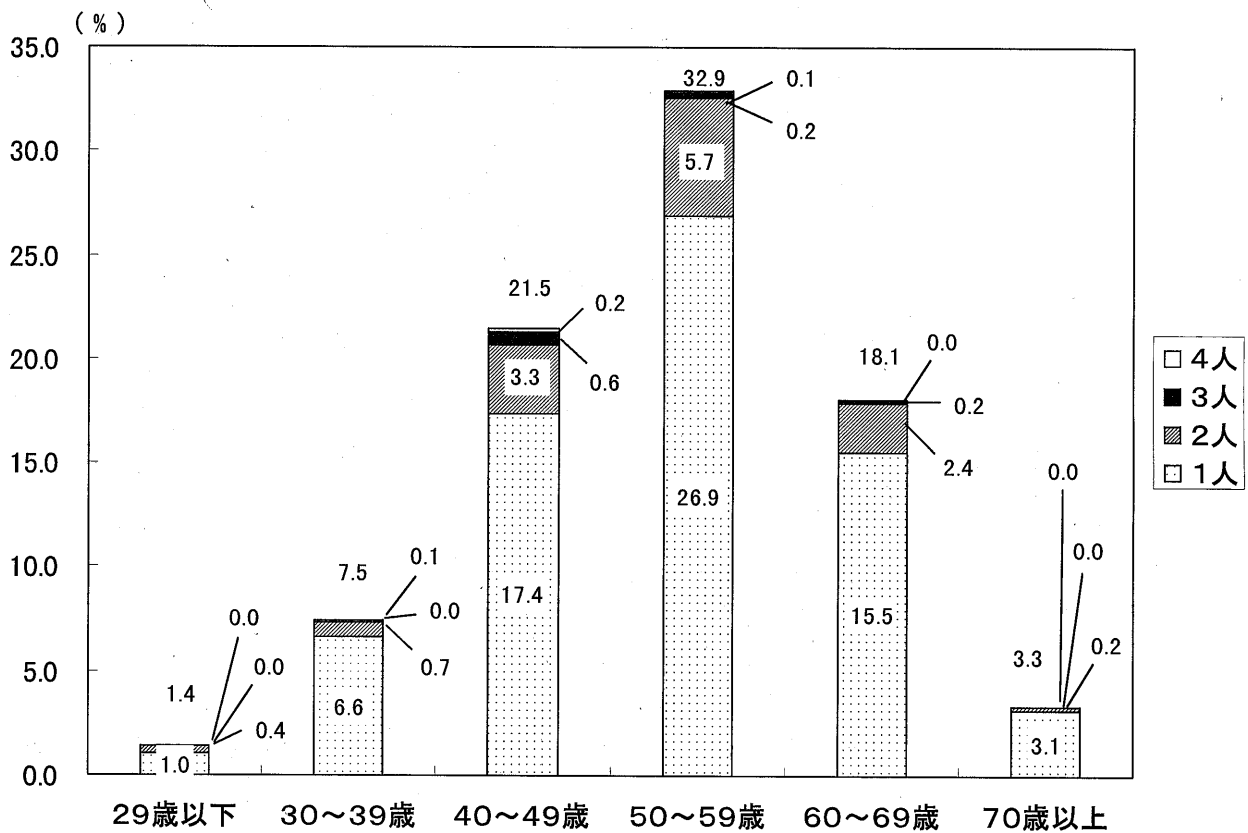
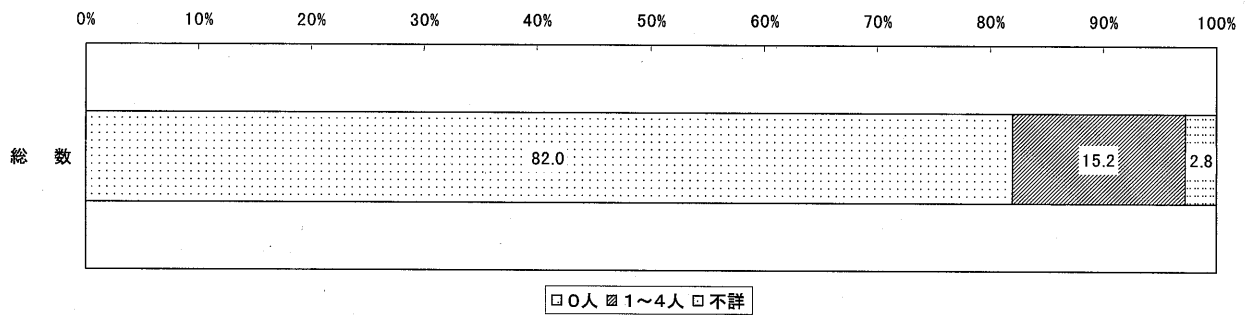
2 最多所得者の両親及び配偶者の両親の状況

(1) 両親の健康状況

両親の健康状況についてみると、健康上の理由で支援を必要とする親がいる人は、15.2%となっている。

健康上の理由で支援を必要とする親の人数別の状況を最多所得者の年齢階級別にみると、50歳代では32.9%の者が少なくとも1人は健康上の理由で支援を必要とする親がおり、最も多くなっている。(図4)

図4 最多所得者の年齢階級別にみた健康上の理由で支援を必要とする親の数



注: 親がいる最多所得者の数を100%とした場合の構成比を示す

(2) 最多所得者の両親との同・別居の状況

最多所得者の両親との同・別居の状況をみると、同居している者は 26.5%、別居している者は 69.4%となっている。

別居している者を距離別にみると、「3 時間以上」27.9%と最も多くなっているが、60分未満の比較的近いところに住んでいる者も約5割となっている。

最多所得者の両親の年齢階級別にみると、同居は「59 歳以下」10.8%が最も少なく、「70～74 歳」36.0%が最も多くなっている。(表2)

表2 最多所得者の両親の年齢階級別にみた最多所得者の両親との同・別居の状況

(単位:%)

	総数	同居	別居									不詳
				総数	敷地内に別居	15分未満	15～30分未満	30～60分未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3時間以上	
総数	1000	265	694	1000	52	186	139	133	134	77	279	4.1
59歳以下	1000	108	87.7	1000	20	150	105	115	201	11.0	29.9	1.5
60～64歳	1000	17.7	81.4	1000	4.3	236	105	16.7	14.7	7.0	23.3	0.9
65～69歳	1000	27.8	72.0	1000	5.7	184	154	15.1	13.3	5.4	26.6	0.2
70～74歳	1000	36.0	62.5	1000	9.0	165	159	11.7	11.7	9.3	25.8	1.5
75～79歳	1000	32.3	65.3	1000	9.2	19.1	168	13.0	9.5	5.8	26.6	2.5
80歳以上	1000	31.6	66.3	1000	3.2	209	146	13.0	11.5	6.6	30.2	2.0

注: 両親ともに健在の場合は、父親の年齢で計上

(3) 最多所得者の配偶者の両親との同・別居の状況

最多所得者の配偶者の両親との同・別居の状況をみると、同居している者は 9.2%、別居している者は 86.8%となっている。

別居している者を距離別にみると、「3 時間以上」21.4%と最も多くなっているが、60分未満の比較的近いところに住んでいる者も5割を超えている。

最多所得者の配偶者の両親の年齢階級別にみると、同居の割合は「59 歳以下」2.3%が最も少なく、「75～79 以上」14.5%が最も多くなっており、概ね加齢と共に同居が増えている。(表3)

表3 最多所得者の配偶者の両親の年齢階級別にみた最多所得者の配偶者の両親との同・別居の状況

(単位:%)

	総数	同居	別居									不詳
				総数	敷地内に別居	15分未満	15～30分未満	30～60分未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3時間以上	
総数	1000	9.2	86.8	1000	1.8	182	194	16.3	16.6	6.3	21.4	4.0
59歳以下	1000	2.3	95.5	1000	0.4	25.4	21.8	17.1	13.5	6.0	15.9	2.3
60～64歳	1000	4.3	94.3	1000	1.8	17.0	20.9	18.8	17.0	5.0	19.5	1.3
65～69歳	1000	7.0	92.1	1000	2.9	19.1	19.4	15.3	16.2	6.2	20.9	0.8
70～74歳	1000	9.4	90.0	1000	2.3	19.8	22.1	14.0	16.2	6.9	18.8	0.7
75～79歳	1000	14.5	83.5	1000	2.1	13.8	18.6	17.1	16.8	9.0	22.8	2.0
80歳以上	1000	12.6	83.5	1000	1.4	16.2	16.2	16.6	18.6	5.6	25.5	3.9

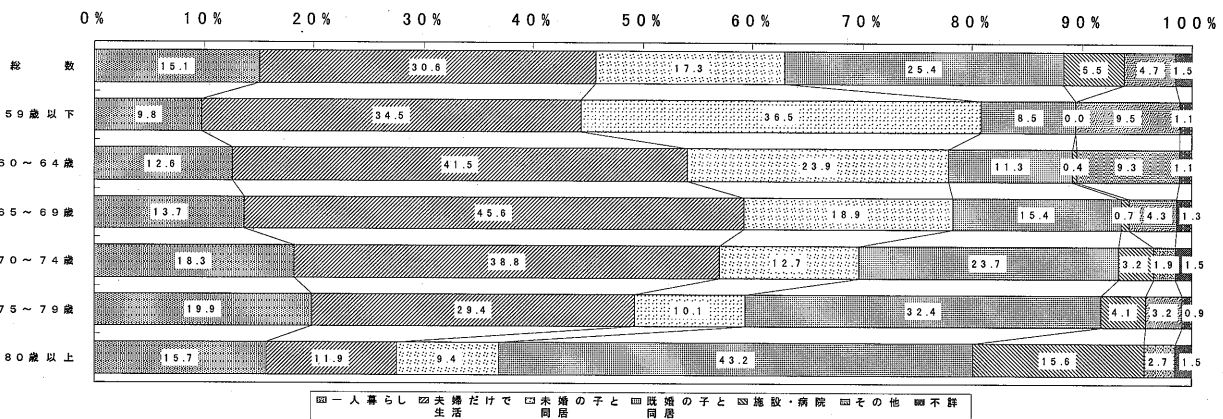
注: 両親ともに健在の場合は、父親の年齢で計上

(4) 別居している両親の生活形態

別居している両親の生活形態をみると、「夫婦だけで生活」が最も多く 30.6%、「既婚の子と同居」が次に多く 25.4%となっている。それを両親の年齢階級別にみても、59歳以下は「未婚の子と同居」、60歳代から70歳代前半は「夫婦だけで生活」、75歳を越えると「既婚の子と同居」がそれぞれ最も多くなっている。

なお、「一人暮らし」については、70歳代で比較的多くなっている。(図5)

図5 両親の年齢階級別の生活形態



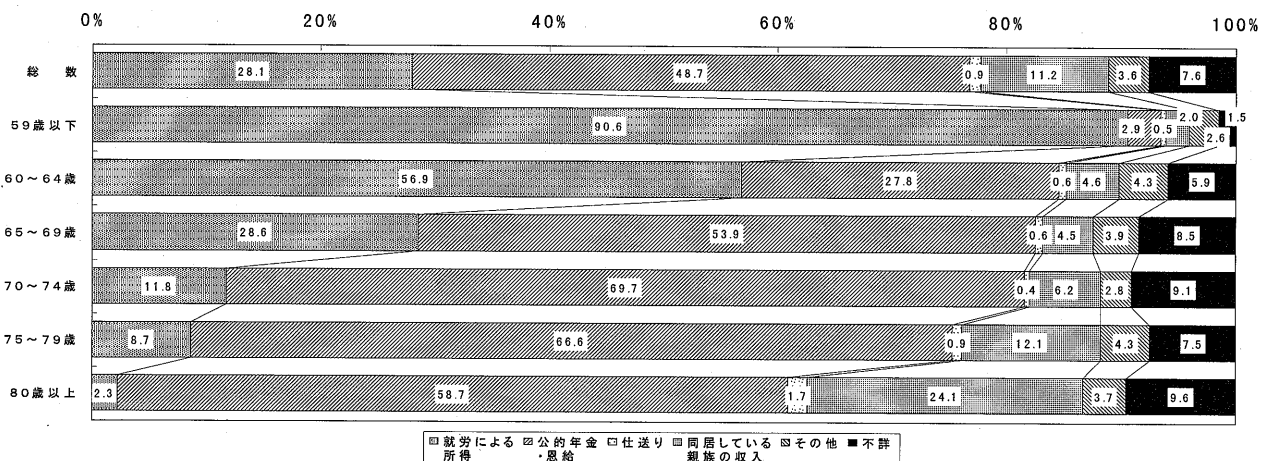
注：両親ともに健在の場合は、父親の年齢で計上

(5) 別居している両親の生計状況

別居している両親が何によって生計を賄っているかをみると、「公的年金・恩給」48.7%が最も多く、次に「就労による所得」28.1%となっている。

両親の年齢階級別にみると、「就労による所得」では「59歳以下」90.6%、「60～64歳」56.9%と加齢と共にその割合が低くなっている。一方、「公的年金・恩給」は65歳以上のいずれの年齢階級でみても50%を越えている。また、「同居している親族の収入」は「75～79歳」で12.1%、「80歳以上」で24.1%とより年齢の高い両親の場合にその割合が高くなっている。(図6)

図6 両親の年齢階級別の生計状況



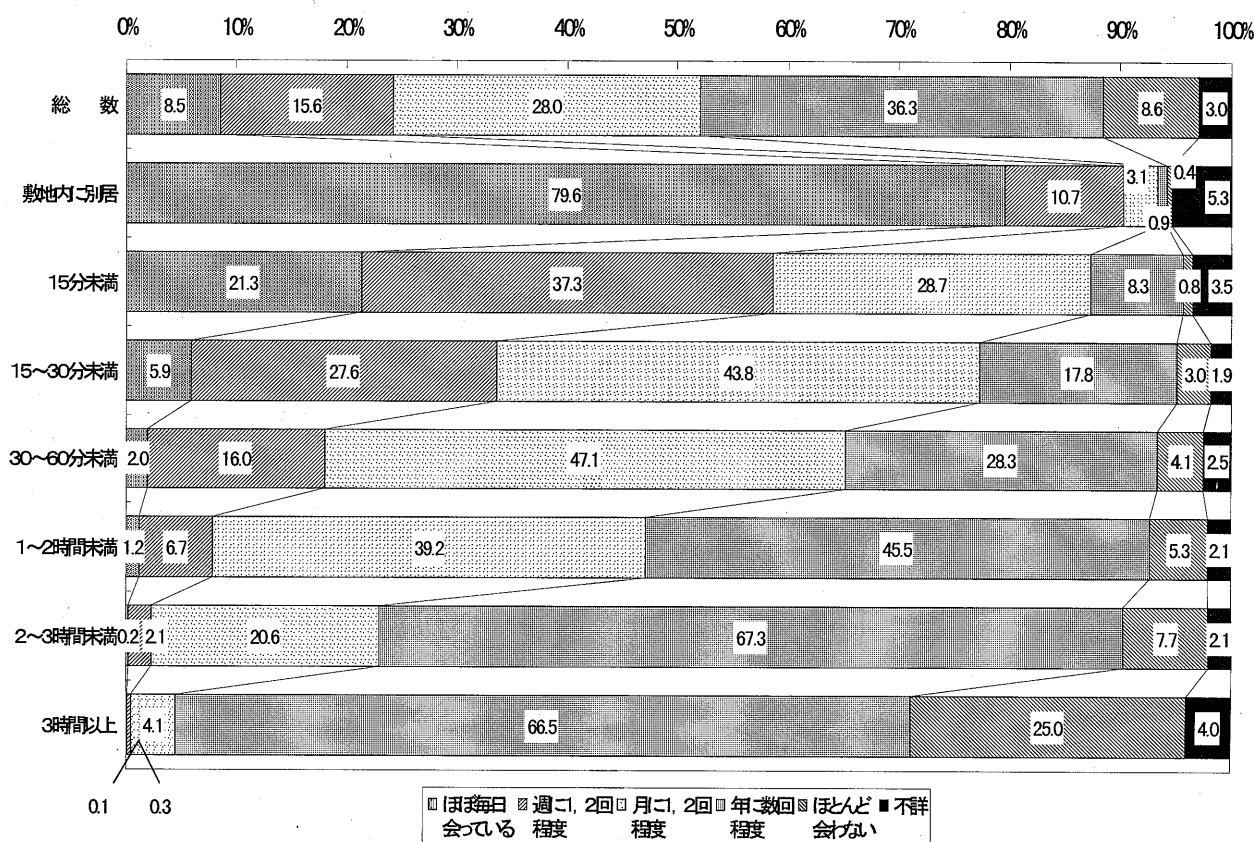
注：両親ともに健在の場合は、父親の年齢で計上

(6) 別居している両親との交流状況

別居している両親とどの程度の割合で会っているかをみると、「年に数回程度」36.3%、「月に1、2回程度」28.0%が多くなっている。

別居している距離別にみると、「敷地内に別居」は「ほぼ毎日会っている」79.6%、「15分未満」は「週に1、2回程度」37.3%、「15～30分未満」、「30～60分未満」は「月に1、2回程度」（それぞれ43.8%、47.1%）、「1～2時間未満」、「2～3時間未満」、「3時間以上」は「年に数回程度」（それぞれ45.5%、67.3%、66.5%）がそれぞれ最も多くなっており、距離が長くなると両親との交流が少なくなっている。（図7）

図7 別居の距離別にみた両親との交流状況



(7) 別居している両親への手助け・世話の状況

別居している両親への手助け・世話については、様々な要因により、その状況が変化すると考えられる。ここでは、次の3つについて状況を見る。

① 両親の年齢階級別

別居している両親の年齢階級別にみると、手助けや世話をしている者は「80歳以上」56.0%が最も多く、次いで「75～79歳」53.6%、「70～74歳」46.3%となっており、加齢と共にその割合が高くなっている。手助けや世話の内容をみると、「病気の時の看病・世話」は、年齢が高いほど多くなっている。(表4)

表4 別居している両親の年齢階級別にみた両親への手助け・世話の状況 (複数回答)

(単位:%)

	総数	ある									なし
		総数	買い物	食事・洗濯	悩み事の相談	看病・世話	介護	生活費の援助	その他		
総数	100.0	43.1	100.0	22.0	10.1	32.7	32.9	4.1	11.4	37.7	56.9
59歳以下	100.0	28.2	100.0	21.2	16.2	34.0	15.9	0.3	12.1	37.7	71.8
60～64歳以下	100.0	36.9	100.0	20.1	7.4	39.3	22.8	3.0	12.1	39.6	63.1
65～69歳以下	100.0	37.0	100.0	24.9	6.2	37.4	26.7	2.7	11.3	40.4	63.0
70～74歳以下	100.0	46.3	100.0	24.0	9.3	32.5	37.0	2.6	9.3	36.6	53.7
75～79歳以下	100.0	53.6	100.0	21.6	8.6	34.4	36.6	2.9	11.0	35.3	46.4
80歳以上	100.0	56.0	100.0	20.3	11.9	26.3	42.9	8.7	12.5	37.6	44.0

注:「食事・洗濯」は「食事・洗濯等の家事」、「看病・世話」は「病気の時の看病・世話」の略

② 別居している距離別

別居している距離別にみると、手助けや世話をしている者は「敷地内に別居」65.8%が最も多く、次いで「15分未満」47.7%、「15～30分未満」47.2%となっており、距離が短いほど手助けや世話をしている者が多くなっている。手助けや世話の内容をみると、「買い物」、「病気の時の看病・世話」は、距離が短いほど多くなっている。

(表5)

表5 別居している距離別にみた両親への手助け・世話の状況 (複数回答)

(単位:%)

	総数	ある									なし
		総数	買い物	食事・洗濯	悩み事の相談	看病・世話	介護	生活費の援助	その他		
総数	100.0	43.1	100.0	22.0	10.1	32.7	32.9	4.1	11.4	37.7	56.9
敷地内に別居	100.0	65.8	100.0	45.3	23.6	27.0	54.1	4.7	17.6	29.7	34.2
15分未満	100.0	47.7	100.0	31.9	10.9	32.6	38.7	4.0	6.3	34.9	52.3
15～30分未満	100.0	47.2	100.0	28.8	9.7	33.5	36.7	4.2	9.3	32.6	52.8
30～60分未満	100.0	45.3	100.0	21.0	10.5	32.2	33.9	4.1	7.6	41.0	54.7
1～2時間未満	100.0	42.3	100.0	14.6	11.3	36.1	32.5	6.1	13.0	37.6	57.7
2～3時間未満	100.0	36.4	100.0	17.8	14.0	33.1	26.8	3.2	11.5	35.0	63.6
3時間以上	100.0	34.3	100.0	5.7	3.3	31.4	18.3	2.7	18.9	46.0	65.7

注:「食事・洗濯」は「食事・洗濯等の家事」、「看病・世話」は「病気の時の看病・世話」の略

③ 親の健康状況

別居している親の健康状態別にみると、手助けや世話をしている者は「支援が必要」の場合 67.4%、「支援不要」の場合 39.2%となっている。手助けや世話の内容をみると、「支援が必要」は、「病気の時の看病・世話」45.2%、「支援不要」は、「悩み事の相談」34.7%が最も多くなっている。(表6)

表6 別居している親の健康状況別にみた最多所得者の両親への手助け・世話の状況 (複数回答)

(単位:%)

	総数	ある									なし
		総数	買い物	食事・洗濯	悩み事の相談	看病・世話	介護	生活費の援助	その他		
総数	100.0	43.1	100.0	22.0	10.1	32.7	32.9	4.1	11.4	37.7	56.9
支援が必要	100.0	67.4	100.0	21.4	15.4	26.0	45.2	16.5	16.3	31.6	32.6
支援不要	100.0	39.2	100.0	22.1	8.6	34.7	29.5	0.7	10.1	39.3	60.8

注:「食事・洗濯」は「食事・洗濯等の家事」、「看病・世話」は「病気の時の看病・世話」の略

(8) 別居している両親からの手助け・世話の状況

別居している親からの手助け・世話についても、様々な要因により、その状況が変化すると考えられることから、ここでは、次の3つについて状況を見る。

① 両親の年齢階級別

別居している両親の年齢階級別にみると、「59歳以下」52.2%が最も多く、次いで「60～64歳」44.5%、「65～69歳」38.8%となっており、両親の年齢が高いほど手助けや世話を受けている者が少なくなっている。

手助けや世話の内容をみると、74歳以下では、「子の世話」が最も多くなっているが、75歳以上では、「悩み事の相談」が最も多くなっている。(表7)

表7 別居している両親の年齢階級別にみた両親からの手助け・世話の状況 (複数回答)

(単位:%)

	総数	ある									なし
		総数	買い物	食事・洗濯	悩み事の相談	看病・世話	子供の世話	生活費の援助	その他		
総数	1000	341	1000	75	73	253	86	285	168	390	659
59歳以下	1000	522	1000	108	93	254	96	298	276	259	478
60～64歳以下	1000	445	1000	106	89	265	84	407	145	351	555
65～69歳以下	1000	388	1000	88	99	215	93	390	113	373	612
70～74歳以下	1000	317	1000	35	35	266	76	282	108	449	683
75～79歳以下	1000	280	1000	30	38	278	55	131	114	544	720
80歳以上	1000	160	1000	23	41	263	106	60	124	590	840

注:「食事・洗濯」は「食事・洗濯等の家事」、「看病・世話」は「病気の時の看病・世話」の略

② 距離別

別居している距離別にみると、手助けや世話を受けている者は「敷地内に別居」54.2%が最も多く、次いで「15分未満」41.9%となっており、概ね距離が短いほど手助けや世話をしている者が多くなっている。手助けや世話の内容をみると、60分未満の比較的近くに住んでいる場合は「子の世話」が最も多くなっているのに対し、比較的遠くに住んでいる場合は「悩み事の相談」、「生活費の援助」が多くなっている。（表8）

表8 別居している距離別にみた両親からの手助け・世話の状況（複数回答）

（単位：%）

	総数	ある									なし
		総数	買い物	食事・洗濯	悩み事の相談	看病・世話	子の世話	生活費の援助	その他		
総数	1000	34.1	1000	7.5	7.3	25.3	8.6	28.5	16.8	39.0	65.9
敷地内に別居	1000	54.2	1000	13.9	21.3	19.7	7.4	50.0	9.0	26.2	45.8
15分未満	1000	41.9	1000	10.6	11.0	22.8	9.6	45.9	10.8	30.5	58.1
15～30分未満	1000	33.7	1000	8.9	6.8	27.6	11.6	32.9	14.5	31.8	66.3
30～60分未満	1000	31.2	1000	4.6	4.6	21.6	8.5	27.7	13.8	48.9	68.8
1～2時間未満	1000	32.6	1000	9.9	8.6	30.1	9.6	21.5	22.2	39.7	67.4
2～3時間未満	1000	34.3	1000	4.1	1.4	23.0	7.4	11.5	31.8	39.2	65.7
3時間以上	1000	27.8	1000	1.9	2.2	27.7	5.1	9.2	21.0	51.6	72.2

注：「食事・洗濯」は「食事・洗濯等の家事」、「看病・世話」は「病気の時の看病・世話」の略

③ 19歳以下の子供がいる場合

19歳以下の一番下の子供の年齢階級別にみると、手助けや世話を受けている者は「0～4歳」51.7%が最も多く、次いで「5～9歳」37.9%、「10～14歳」32.5%となっており、子供の年齢と共にその割合が少なくなっている。手助けや世話の内容をみると、「子の世話」は14歳以下で多く、10歳以上では「悩み事の相談」が多くなっている。（表9）

表9 一番下の子供の年齢階級別のみた別居している両親からの手助け・世話の状況（複数回答）

（単位：%）

	総数	ある									なし
		総数	買い物	食事・洗濯	悩み事の相談	看病・世話	子の世話	生活費の援助	その他		
総数	1000	34.1	1000	7.5	7.3	25.3	8.6	28.5	16.8	39.0	65.9
20歳未満子あり	1000	39.7	1000	7.8	6.5	23.5	8.3	41.7	11.7	37.6	60.3
0～4歳	1000	51.7	1000	11.9	8.4	22.2	10.5	55.0	11.7	27.6	48.3
5～9歳	1000	37.9	1000	6.1	5.1	23.2	7.7	44.1	14.5	31.6	62.1
10～14歳	1000	32.5	1000	1.6	4.0	25.8	4.0	25.8	6.9	58.1	67.5
15～19歳	1000	26.7	1000	3.9	5.6	25.1	6.7	10.1	14.0	56.4	73.3
20歳未満子なし	1000	26.8	1000	6.9	8.8	28.8	9.2	2.8	26.7	41.7	73.2

注1：「食事・洗濯」は「食事・洗濯等の家事」、「看病・世話」は「病気の時の看病・世話」の略

3 最多所得者の子供の状況

(1) 子供との同・別居状況

子供との同・別居の状況をみると、「同居」50.2%、「別居」48.2%となっている。別居の内訳をみると、「3時間以上」32.3%が多くなっている。

子供の年齢階級別に同・別居の状況をみると、「同居」は、「19歳以下」94.1%が最も多く、次いで、「20～29歳」50.4%が多くなっている。(表10)

表10 子供の年齢階級別にみた子供との同・別居の状況

(単位%)

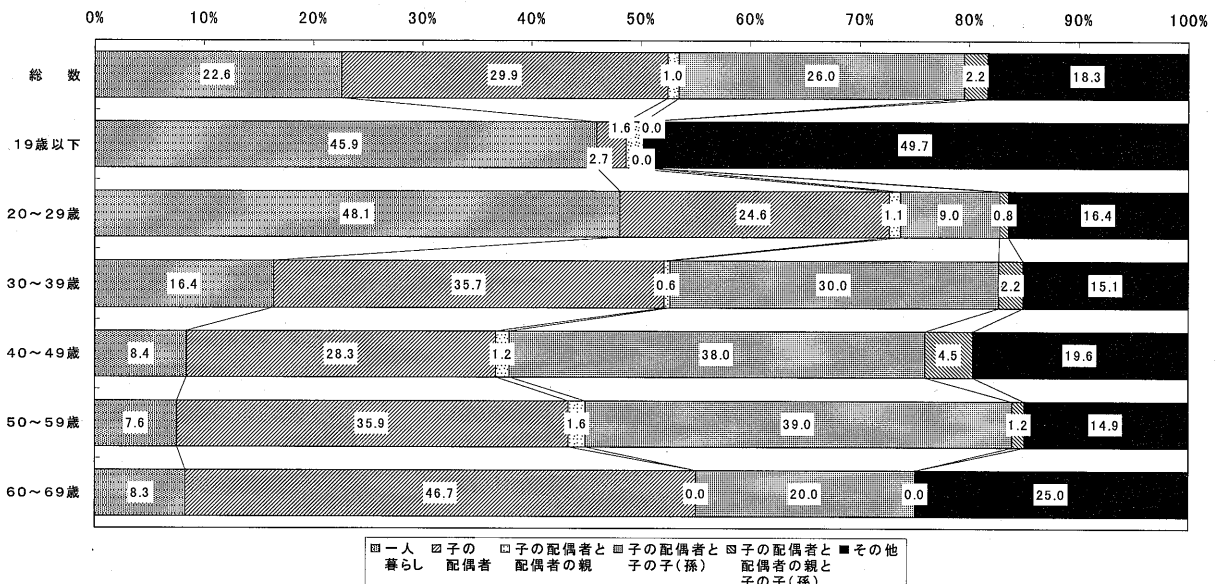
	総数	同居	別居	別居の内訳								不詳
				総数	敷地内に別居	15分未満	15～30分未満	30～60分未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3時間以上	
総数	100.0	50.2	48.2	100.0	3.6	12.4	13.6	14.6	15.2	8.3	32.3	1.6
19歳以下	100.0	94.1	5.5	100.0	1.1	4.4	2.2	11.5	15.8	15.3	49.7	0.4
20～29歳	100.0	50.4	48.6	100.0	1.6	10.9	12.0	13.0	15.8	9.2	37.5	1.1
30～39歳	100.0	20.4	77.7	100.0	3.4	15.0	15.8	16.5	15.1	7.2	27.0	2.0
40～49歳	100.0	12.5	85.8	100.0	5.2	12.0	14.4	14.3	15.0	8.3	30.9	1.7
50～59歳	100.0	7.6	89.1	100.0	6.0	12.0	14.5	14.0	13.2	7.8	32.6	3.3
60歳以上	100.0	6.0	89.6	100.0	3.3	13.3	10.0	15.0	18.3	11.7	28.3	4.5

(2) 別居している子供の生活形態

別居している子供の生活形態をみると、「子の配偶者との生活」29.9%が最も多く、次に「子の配偶者と子の子との生活」26.0%となっている。

子供の年齢階級別にみると、29歳以下では約半数が「一人暮らし」であるのに対し、30歳代と60歳代では「子の配偶者との生活」、40歳代、50歳代では「子の配偶者と子の子(孫)との生活」が最も多くなっている。(図8)

図8 別居している子供の生活形態

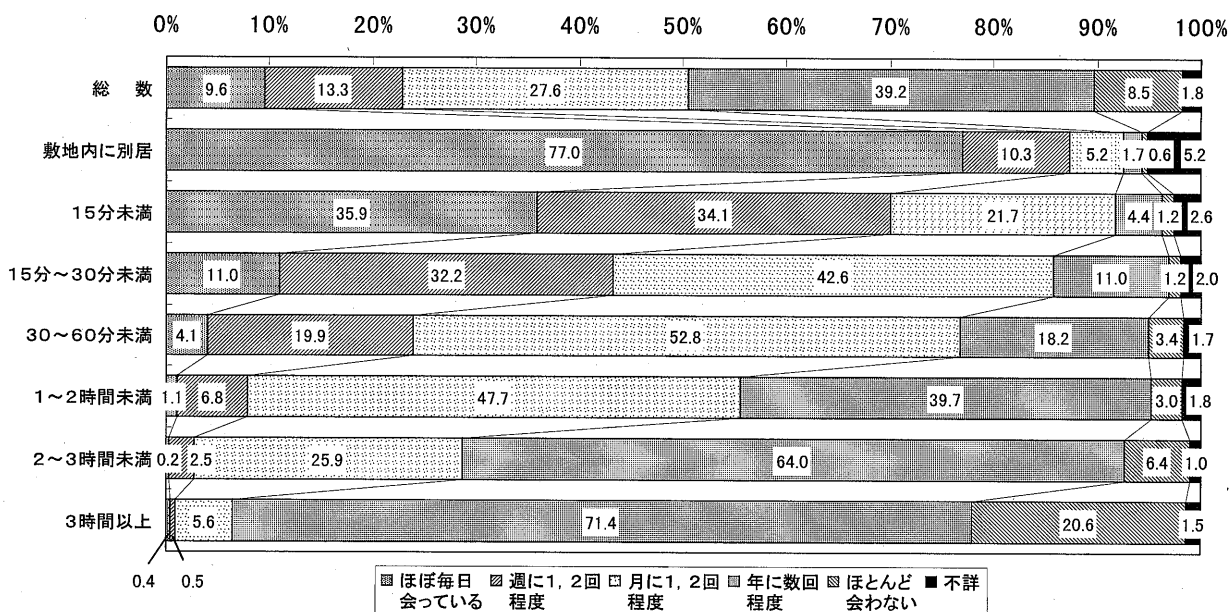


(3) 別居している子供の交流状況

別居している子供とどの程度の割合で会うかをみると、「年に数回程度」39.2%、「月に1、2回程度」27.6%が多くなっている。

別居している距離別にみると、「敷地内に別居」、「15分未満」は「ほぼ毎日会っている」（それぞれ77.0%、35.9%）、「15～30分未満」、「30～60分未満」、「1～2時間未満」は「月に1、2回程度」（それぞれ42.6%、52.8%、47.7%）、「2～3時間未満」、「3時間以上」は「年に数回程度」（それぞれ64.0%、71.4%）がそれぞれ最も多くなっており、距離が長くなると両親との交流が少なくなっている。（図9）

図9 別居している子供との交流状況（別居の距離別）



(4) 別居している子供への手助け・世話の状況

別居している子供への手助け・世話の状況をみると、手助けや世話をしている者は、37.6%となっている。手助けや世話をしている者の手助けや世話の内容をみると、「悩み事の相談」41.7%、「子の子（孫）の世話」25.9%、「生活費の援助」25.6%が多くなっている。

子供の年齢階級別にみると、手助けや世話をしている者は、年齢が高くなるにつれて、その割合が低くなっている。手助けや世話の内容をみると、「生活費の援助」が24歳以下で、「子の子（孫）の世話」が30歳代前半で高くなっている他は「悩み事の相談」が最も高くなっている。

子供の配偶者の有無別にみると、手助けや世話をしている者は、「配偶者あり」32.3%、「配偶者なし」50.0%と「配偶者なし」が高くなっている。手助けや世話の内容をみると、「配偶者あり」は「悩み事の相談」41.2%、「子の子（孫）の世話」40.1%、「配偶者なし」では、「生活費の援助」51.7%が多くなっている。（表11）

別居している距離別にみると、手助けや世話をしている者は、「敷地内に別居」54.6%が最も多く、次いで「15分未満」44.8%となっている。手助けや世話の内容をみると、「病気の時の看病・世話」、「子の子（孫）の世話」は概ね距離が短いほど多いが、「悩み事の相談」、「生活費の援助」は概ね距離が長いほど多くなっている。（表12）

表11 子供の年齢階級、子供の配偶者の有無別にみた別居している子供への手助け・世話の状況（複数回答）

	総数	ある									なし
		総数	買い物	食事・洗濯	悩み事の相談	看病・世話	子の子（孫）の世話	生活費の援助	その他		
総数	100.0	37.6	100.0	9.0	8.0	41.7	16.5	25.9	25.6	27.8	62.4
19歳以下	100.0	78.1	100.0	16.1	11.9	40.6	17.5	0.7	82.5	21.7	21.9
20～29歳	100.0	53.9	100.0	8.9	7.7	44.0	13.6	17.0	37.7	28.3	46.1
20～24歳	100.0	64.0	100.0	7.4	5.1	41.8	10.8	7.1	58.2	24.6	36.0
25～29歳	100.0	47.6	100.0	10.1	9.8	45.8	16.0	25.3	20.5	31.5	52.4
30～39歳	100.0	38.9	100.0	9.3	7.0	38.7	20.4	41.7	10.9	25.8	61.1
40～49歳	100.0	24.5	100.0	6.7	8.8	40.7	15.1	28.8	9.1	33.7	75.5
50～59歳	100.0	15.7	100.0	1.2	8.6	44.4	12.3	12.3	6.2	30.9	84.3
60～69歳	100.0	8.3	100.0	40.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	80.0	91.7
配偶者あり	100.0	32.3	100.0	8.2	5.7	41.2	18.1	40.1	8.9	29.1	67.7
配偶者なし	100.0	50.0	100.0	10.0	11.6	42.6	14.1	4.5	51.7	25.9	50.0

注：「食事・洗濯」は「食事・洗濯等の家事」、「看病・世話」は「病気の時の看病・世話」の略

表12 別居している距離別にみた別居している子供への手助け・世話の状況（複数回答）

	総数	ある									なし
		総数	買い物	食事・洗濯	悩み事の相談	看病・世話	子の子（孫）の世話	生活費の援助	その他		
総数	100.0	37.6	100.0	9.0	8.0	41.7	16.5	25.9	25.6	27.8	62.4
敷地内に別居	100.0	54.6	100.0	20.0	30.5	28.4	22.1	46.3	15.8	20.0	45.4
15分未満	100.0	44.8	100.0	15.4	13.6	35.7	22.1	45.2	13.2	22.4	55.2
15～30分未満	100.0	36.1	100.0	7.9	5.8	35.8	21.7	40.0	10.4	30.4	63.9
30～60分未満	100.0	39.6	100.0	8.8	4.6	41.7	18.4	33.9	13.8	27.9	60.4
1～2時間未満	100.0	34.9	100.0	9.7	8.9	43.0	14.3	22.1	23.3	29.8	65.1
2～3時間未満	100.0	35.8	100.0	3.4	4.8	46.2	12.4	14.5	37.9	27.6	64.2
3時間以上	100.0	34.2	100.0	5.6	4.3	47.9	11.5	7.1	44.3	29.9	65.8

注：「食事・洗濯」は「食事・洗濯等の家事」、「看病・世話」は「病気の時の看病・世話」の略

(5) 別居している子供からの手助け・世話の状況

別居している子供からの手助け・世話の状況をみると、手助けや世話をしている者は、26.3%となっている。手助けや世話をしている者の手助けや世話の内容をみると、「悩み事の相談」33.5%、「病気の時の看病・世話」33.4%、「買い物」21.8%が多くなっている。

子供の年齢階級別にみると、手助けや世話をしている者は、概ね年齢が高くなるにつれてその割合が高くなっている。手助けや世話の内容をみると、30歳代以下は「悩み事の相談」、40歳代以上は「病気の時の看病・世話」の割合が最も高くなっている。

(表13)

別居している距離別にみると、手助けや世話をしている者は、「敷地内に別居」53.4%が最も多く、次いで「15分未満」36.1%となっている。手助けや世話の内容をみると、「買い物」、「食事、洗濯等の家事」は概ね距離が短いほど多くなっている。(表14)

表13 子供の年齢階級別にみた別居している子供からの手助け・世話の状況(複数回答)

(単位:%)

	総数	ある										なし
		総数	買い物	食事・洗濯	悩み事の相談	看病・世話	介護	生活費の援助	その他			
総数	100.0	26.3	100.0	21.8	8.6	33.5	33.4	4.1	9.7	35.5	73.7	
19歳以下	100.0	14.2	100.0	3.8	3.8	34.6	11.5	0.0	0.0	69.2	85.8	
20~29歳	100.0	24.6	100.0	19.1	6.4	34.6	21.8	0.7	8.1	43.6	75.4	
20~24歳	100.0	21.6	100.0	13.0	6.0	33.0	16.0	1.0	8.0	49.0	78.4	
25~29歳	100.0	26.5	100.0	22.2	6.6	35.4	24.7	0.5	8.1	40.9	73.5	
30~39歳	100.0	24.7	100.0	24.4	7.3	34.5	30.1	2.7	7.3	37.7	75.3	
40~49歳	100.0	28.9	100.0	19.9	8.9	33.9	39.3	5.1	10.7	31.5	71.1	
50~59歳	100.0	35.1	100.0	25.4	12.2	26.5	48.6	10.5	16.6	21.0	64.9	
60~69歳	100.0	28.3	100.0	41.2	35.3	47.1	58.8	11.8	11.8	23.5	71.7	

注:「食事・洗濯」は「食事・洗濯等の家事」、「看病・世話」は「病気の時の看病・世話」の略

表14 別居している距離別にみた別居している子供からの手助け・世話の状況(複数回答)

(単位:%)

	総数	ある										なし
		総数	買い物	食事・洗濯	悩み事の相談	看病・世話	介護	生活費の援助	その他			
総数	100.0	26.3	100.0	21.8	8.6	33.5	33.4	4.1	9.7	35.5	73.7	
敷地内に別居	100.0	53.4	100.0	52.7	30.1	25.8	49.5	10.8	17.2	16.1	46.6	
15分未満	100.0	36.1	100.0	35.6	14.6	28.8	37.4	4.1	8.2	31.5	63.9	
15~30分未満	100.0	28.9	100.0	30.2	8.9	25.0	40.6	4.7	5.2	37.0	71.1	
30~60分未満	100.0	29.7	100.0	21.2	6.1	37.3	34.4	4.7	11.3	34.4	70.3	
1~2時間未満	100.0	25.5	100.0	13.8	5.3	36.0	34.4	6.3	6.9	34.9	74.5	
2~3時間未満	100.0	21.5	100.0	13.8	5.7	35.6	39.1	0.0	9.2	36.8	78.5	
3時間以上	100.0	18.4	100.0	4.1	1.7	40.3	17.2	1.0	12.1	44.5	81.6	

注:「食事・洗濯」は「食事・洗濯等の家事」、「看病・世話」は「病気の時の看病・世話」の略

4 地域とのかかわり方の状況

(1) 手助けの状況

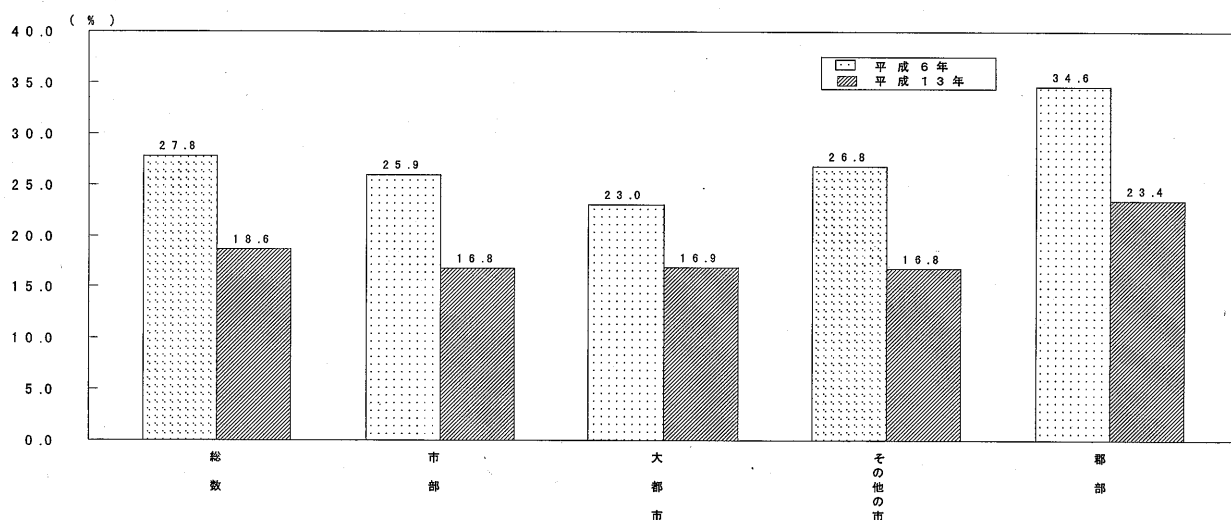
調査日前1年間（平成12年7月13日から平成13年7月12日）に、自分の世帯以外の人に対して行った手助けの状況をみると、手助けをしたことが「ある」者の割合は18.6%となっている。

手助けをしたことがある者の割合を市郡別にみると、郡部が23.4%と市部に比べ多く、市部の16.8%とは6.6ポイントの差がある。前回調査と比較してみると、いずれの地域においても割合が低下していることがわかる。（図10）

次に、手助けの内容をみると、「冠婚葬祭等の手伝い」が最も多く88.4%となっている。（表15）

図10 手助けの状況

（手助けしたことが「ある」と答えた者）



※ 前回平成6年は「地域相互扶助状況基礎調査」の調査結果である（以下同じ）。

表15 手助けをした相手及び手助けの内容（複数回答）

（単位：%）

	総数	病気の時の看病・世話	乳幼児・老人等の世話	冠婚葬祭等の手伝い	その他
総数	100.0	38.6	18.7	88.4	50.9
親族	62.8	28.0	8.4	32.5	13.7
近隣・地域の人	45.6	4.7	5.1	30.6	14.3
友人・知人	28.0	4.3	3.7	14.3	11.5
職場・学校の仲間	16.5	1.0	1.1	9.9	7.0
その他	5.7	0.7	0.4	1.1	4.4

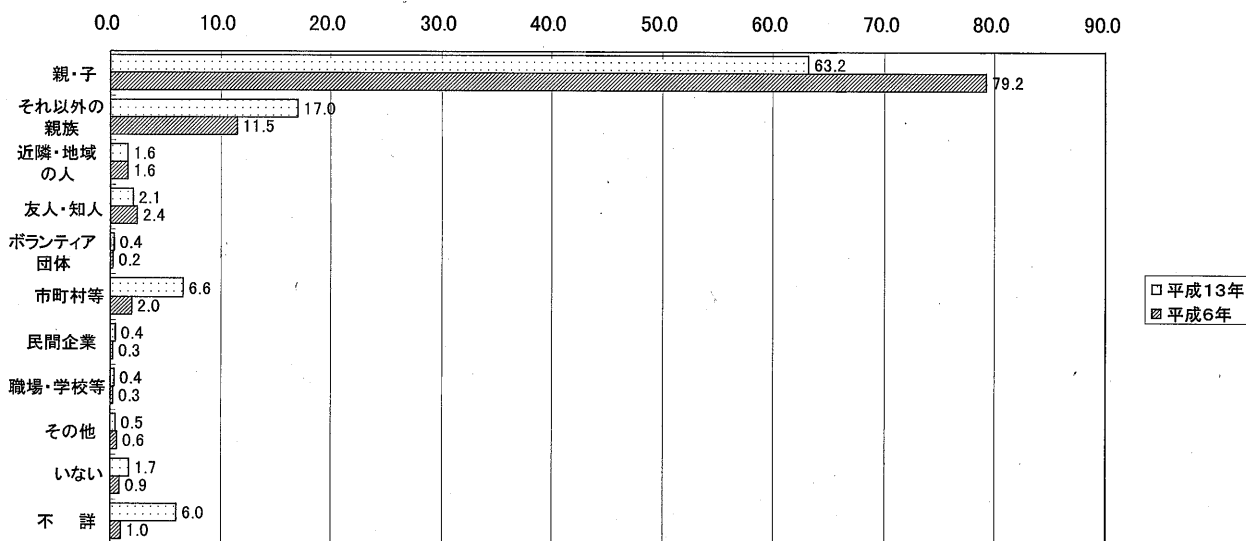
(2) 手助けを頼む相手

手助けが必要になった場合の頼む相手についてみると、最初に頼む相手は、「親、子」が最も多く 63.2%と約6割を占めている。次に頼む相手では「それ以外の親族」が最も多く 45.8%となっている。平成6年と比較すると、最初に頼む相手は、「親、子」、次に頼む相手では「それ以外の親族」がそれぞれ最も多くなっているが、平成13年はその割合が低くなっている。

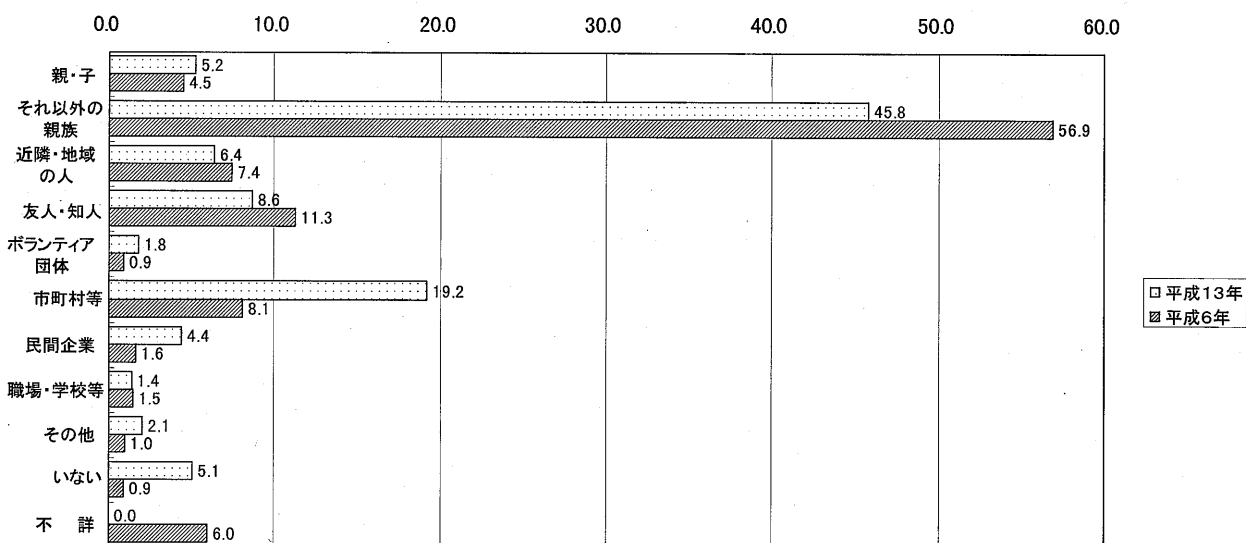
最初に頼む相手が「親、子」とする者について、次に頼む相手を見てみると、「親子以外の親族」が最も多く 61.2%、次いで「市町村等」の 18.9%となっている。平成6年と比較すると、「市町村等」が平成13年では11.2ポイント多くなっている。(図11)

図11 手助けが必要になった場合の頼む相手の状況

(最初に頼む相手)



(次に頼む相手)



(「親・子」を最初に頼む相手としている者の次に頼む相手)

